

ブドウ「クイーンニーナ」の着色向上技術

1 はじめに

高品質なブドウ「クイーンニーナ」を生産するためには、果実表面をムラなく赤色に着色させることが重要です。今回、光反射シートの敷設が高い着色向上効果を示したので紹介します。

2 技術内容

1) 光反射シートの敷設方法

ブドウ樹の主枝下に、幅1mの光反射シート（白色タイベックシート）を敷設します。光反射シートは着色始期（ベレーゾン期）から収穫までの期間設置します（第1図）。その他の栽培管理は慣行の無核栽培と同様にいきます。



第1図 タイベックシート敷設の様子

2) 光反射シートの着色向上効果

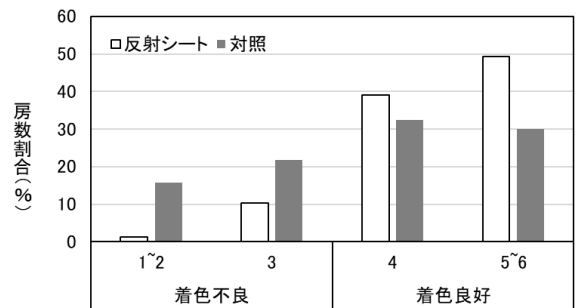
着色不良果（カラーチャート値 3.9 以下）が減少し、着色良好果（カラーチャート値 4.0 以上）が増加します（第2図）。反射シートを敷設していないブドウ樹では、着色不良果が全体の約 35%ありましたが、反射シート敷設したブドウ樹では、着色不良果が約 10%に減少し、約 25%着色が向上しました（第3図）。

また、赤色の色素成分であるアントシアニン含量を除いて、その他の果実品質への影響はありませんので、同様の果実品質で着色のみを向上させることができます。



C.C 値 : 1~2.9 3~3.9 4~4.9 5~6

第2図 収穫時の果房の様子



第3図 総調査果における C.C 値の頻度分布

第1表 果実品質

処理区	粒数 (個)	房重 (g)	軸重 (g)	酸度 (%)	糖度 (Brix%)	アントシアニン含量 ($\mu\text{g}/\text{cm}^2$)
反射シート区	33.9	542.0	10.6	0.47	21.5	41.7
対照区	34.1	535.5	10.2	0.49	20.9	26.2

4 技術の効果およびコスト

○光反射シート ⇒ デュポンタイベック (100cm幅×100m ¥10,450 2021年12月現在)

(農試 園研C ウメ・果樹研究G)